



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2018

11月30日号

167
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8157 福島市蓬萊町七丁目13番5号 TEL/FAX 024(529)7238

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

戊辰戦争 150年に思うこと



会長 新里 昌一

近頃は、幕末・明治維新に興味を持ち、関係する書籍を読み続けています。明治維新は、イギリス産業革命やフランス革命と違い、薩長のクーデターに留まった事が残念です。革命とは、王制等の支配階級を打ち倒して支配されていた下層階級・庶民が主役となる大きな変革です。対してクーデターは、支配階級だけが武力的に変わるだけです。よって軍部・軍隊が起こす事が多く、軍事クーデターとも言われます。

確かに幕府・諸藩・武士の時代から士農工商・廃藩置県には変わりました。勝てば官軍で薩長による支配が続き、会津や庄内は賊軍の汚名を着せられました。歴史は勝者の都合の良いように、いつも塗り替えられます。

徳川幕府が大政奉還を行い恭順に降伏したところで辞め、武力を持って戊辰戦争を起こす必要はなかったと思います。そうすれば、坂本龍馬が夢見た日本が誕生したかも知れません。薩長中心に支配する政権樹立のため、ベトナム戦争やイラク戦争のような大義なき戦いになりました。その後は、西南戦争を経て富国強兵を推し進めて、日清・日露と戦争の道を進み太平洋戦争に突入しました。

幕末、薩摩や長州と会津は引けを取りませんが、佐幕思想が強く貧乏クジを引きました。薩摩や長州は過激な攘夷思想が強く、生麦事件後には無謀にも外国船に砲弾を撃ち戦争（薩英戦争・下関戦争）を起こしました。当然負けましたが圧倒的な武力の差を知り、その後に双方とも相手を詳しく知ろうとする機運が生まれました。急速に接近して外国に特使を派遣したりしています。その中から後の総理大臣も出ています。

また、なぜアヘン戦争のように外国に支配されなかったか。皇帝だけいる国に比べて、天皇が居て幕府・多くの藩や大名が居る日本は一筋縄では行かなかったかも知れません。また、アメリカでは南北戦争が4年も続き、日本への干渉どころではない事情もありました。

今年は戊辰戦争150年に当たり、今年のNHK大河ドラマも西郷隆盛を描いています。また第7回定時総会も会津で行われ、当時に思いを寄せてみました。

今年度の活動も、事務所問題等を含めて多くの課題がありますが、大きな志を持ち解決して行きたいと考えます。これから県内に待望の技師育成の学校＝福島県立医大新学部が設立されます。講師陣には、県内の技師からの起用もありました。医療界もAIの導入等も含めて未来は大きく変わって行きます。現状維持で満足せず、変革を恐れずに進んで行きましょう。これからも技師会へのご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

福島県立医科大学 新医療系学部だより

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 久 保 均

さて、今回は延び延びになってしまいましたアドミッション・ポリシーをご説明いたします。もちろん、現段階では全てが案の状態で、変更があるという前提でご覧ください。

以下が、学部のアドミッション・ポリシー案です。

福島県立医科大学保健科学部では、保健・医療・福祉分野において重要な役割を担い、県民の命と健康を守り、かつ、生涯にわたって学習・科学するマインドを持ち続ける専門医療技術者（理学療法士、作業療法士、診療放射線技師及び臨床検査技師）を養成する。そのため、次に示すような資質を有する人を求める。

1. 理学療法士、作業療法士、診療放射線技師又は臨床検査技師として人々の健康と生活を支える意欲を有する人
2. 科学的探求心と創造性を備え、主体的に高度な専門知識と技術を学ぶ姿勢を有する人
3. コミュニケーション能力に優れ、協調性を有する人
4. 東日本大震災を経験した福島の地で学修するという意欲を有する人
5. 本学部で学ぶための十分な学力を有する人

そして、こちらが診療放射線科学科のアドミッション・ポリシー案です。

診療放射線科学科

診療放射線科学科では、本学及び本学部の入学者受け入れ方針に基づき、以下に示すような資質を有する人を求める。

1. 将来は診療放射線技師として診療放射線科学の進歩に貢献し、人々の健康と生活を支える意欲を有する人
2. 科学的探求心と創造性を備え、生命科学及び理工学を基盤とする診療放射線科学に関する高度な専門知識と技術を主体的に学ぶ姿勢を有する人
3. 医療従事者及び人としてコミュニケーション能力に優れ、協調性を有する人
4. 東日本大震災を経験している福島の地で、診療放射線科学を生涯の専門領域として学ぶ意欲を有する人
5. 生命科学及び理工学を基盤とする診療放射線科学を学ぶための十分な学力を有する人

今まで、ディプロマ・ポリシー案（どのような力を身につけた者に学位を与えるか）とカリキュラム・ポリシー案（ディプロマ・ポリシーで示すような力を身につけさせるためにどのようなカリキュラムを策定するか）をご紹介しました。今回のアドミッション・ポリシー案は、カリキュラム・ポリシーに従った教育を受けるのに必要な人材像を示します。つまり、端的に申し上げると、このような人材に入ってもらって教育したいですよ（＝このような人材を入学試験で選抜したいと思っていますよ）、ということになります。

これからいくつかの修正を見込んでいますので、これがそのまま残るわけではありませんが、おおよそこの方向で進むものをご理解ください。是非、先生方も機会がありましたら中学生や高校生に本学部ができること、および診療放射線技師などの医療技術者の魅力をお伝えいただければ幸いです。

<新医療系学部設置準備室からのお願いー1ー>

引き続き、診療機器や測定機器などで廃棄するものなどからパーツを集める作業を行っております。先生方のご協力により少しずつではありますがパーツは集まってきておりますが、まだまだあれば教育に有効だと思われるパーツがたくさんあると思っております。装置の更新などで廃棄の機会ができましたら、是非ともご連絡ください。お伺いして、拝見させていただきます。なお、X線管球、間接撮影用間接フィルムマガジンはすでに必要数を集めることができました。先生方のご協力に感謝申し上げます。それ以外で、これ使えそう？というようなものがありましたら、是非とも久保（kubo-h@fmu.ac.jp）までご一報いただければ幸いです。

＜新医療系学部設置準備室からのお願い　－２－＞

もう一つ、お願いさせていただきます。新学部はそもそも地域医療に貢献する使命を有しており、我々は開学前ではありますができる限り先生方と一緒に学んで、県内の診療放射線科学（診療放射線技師が業務範囲とする科学全般を指す、我々が使用している用語）を高いレベルへ進化させていきたいと考えております。そこで、「福島医大診療放射線科学スキルアップセミナー」を企画しました。既存の研究会や勉強会との共催でも構いませんし、放射線科部内などで行う2、3人程度の勉強会でも構いません。（公私問いません。）私ども教員をお呼びいただき、一緒に勉強していきましょう。詳細は久保、あるいは新里会長までお尋ねください。（お話など対応できる内容などが記載してある）資料をご用意しております。なお、現時点で平成30年度に関しては、浜通りで我々が主催する場合は費用負担など一切必要ありません。各教員のスケジュールが合う限り、何度でもご一緒にいたします。これは、開学後も続けていきたいと思っておりますので、積極的なご活用をお願いいたします。ルーチン化していただくことも大歓迎です。

平成30年11月5日に撮影した建設予定地。
11月27日に「安全祈願祭及び起工式」が行われることになっております。いよいよ、建物の建築が始まります。



～会長 「オンレコ」～

1 「齋藤康雄さんの叙勲について」

長年の技師会活動が認められて、この度栄えある叙勲となりました。技師会で功績を残した先輩の叙勲は、県技師会としても大変名誉な事です。副会長・会長を経て、現在も監事としてご活躍されています。個人的にも数々のご指導をいただき、そのお陰で現在の私がいると考えています。これからもご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

2 「医療体験セミナー」

今年も医療に興味のある中学生を対象にした、医療体験セミナーに参加をしました。昨年より少ない参加でしたが、診療放射線技師の仕事について説明しました。今回は保護者の方の参加もあり、福島医大新学部の宣伝も出来ました。

3 「臨床検査技師会から講演依頼」

県臨床検査技師会から、「知っておくべき画像診断」の

講演依頼がありました。1月に検査技師さんの前で1時間講演してきます。

4 「東北会長会議及び教育担当者会議」

11月2日、第8回東北放射線医療技術学術大会の前日に盛岡で開催されました。統一講習会は、来年度までは県内で開催します。再来年度からは、地方開催は辞め東京の本部のみでの開催となります。今後、読影補助の法律改正があれば、また講習会がありますが統一講習会合格者のみが受講出来ます。

第9回東北放射線医療技術学術大会は宮城で開催ですが、抄録集の紙媒体は辞めるそうです。ネットやアプリでのプログラム確認となります。またテクニカルミーティングも名称や内容の変更があるとの事でした。

そして再来年の第10回は、私が大会長で福島医大の村上さんが実行委員長、福島市で11月に開催します。2年後に向けて、これから準備を進めて行くつもりです。

《研究会報告》

「平成30年度福島県デジタル画像研究会」開催

平成30年10月27日ポラリス保健看護学院において開催されました。秋の勉強会シーズンの真っ只中であり、次週には東北放射線医療技術学術大会も控える中、32名の参加を頂きました。

株式会社東陽テクニカメディカルシステム、EIZO株式会社に骨組織を透過させる画像処理技術やJESRA-X0093の改正ポイントの情報提供頂きました。

続いて、ユーザーレポートとして、県内の3施設の方から一般撮影用FPDの使用状況の報告をして頂きました。CRシステムから移行しつつあるFPDシステムですが、各施設の運用を聞きながらFPDシステムのメリット・デメリット、運用面の工夫や問題点を聞くことができ、自施設での臨床に活かすことができる内容であったと思います。

教育講演は、コニカミノルタ株式会社の松村先生より「DQEの基礎と実践」をお話頂きました。DQEはDetective Quantum Efficiencyの頭文字をとった用語であり、量子の検出効率をあらわす値となっています。

NEQと混同されることもありますが、DQEは線量も考慮された画質評価であり、入力に関して規格化された単位です。NEQは線量に関係なくその画質が良いかどうかの評価であり、出来上がった画像の実力をあらわします。非常に難しく感じられますが、DQEの測定方法や求め方を優しく解説して下さいました。

特別講演は、群馬県の公立館林厚生病院より奥村先生をお呼びしてお話頂きました。奥村先生には、実際のデジタル画像の画質評価はどういうものかという事を、自身の研究実例を踏まえながら解説頂きました。実際デジタル画像の評価が必要なケース、実際の測定の際に知っておくと便利なコツなども解説頂きました。教科書を読んで理解したつもりでも、実際測定しようと思うと上手く行きません。そのような我々の疑問に答えて頂きました。講演の中の「何か疑問に思ったら、取り敢えず計測しましょう。それがスタートです。」という言葉が印象に残っています。難しい測定をしなくても、ラインプロファイルを見る事から研究が始められるという事でした。講演を拝聴して明日から私もやってみよう！というやる気を興させて頂きました。

(田代)

地区だより

会津地区

「平成30年度 会津地区協議会 交歓会」開催

平成30年9月28日(金)山鹿クリニックにて、昨年に引き続き新人・若手の診療放射線技師と、相互のコミュニケーション促進を目的に開催されました。開会挨拶として、鈴木委員長より「診療放射線技師会について」お話しいただき、教育セミナーとして「院内感染対策の基本」第一三共株式会社 東北支店 岩澤 利夫氏、「富士フィルムのX線画像処理の変遷と最新画像処理技術について」富士フィルムメディカル株式会社 営業本部 岩田 清治氏、よりご講演いただきました。

岩澤先生からのお話では、手指衛生の重要性を始めとする、基本的な院内感染対策を再確認することができたのではないのでしょうか。岩田先生の講演では、病室や救急外来でのX線撮影においてGrid無しで高コントラスト画像を提供できる「Virtual Grid」や、高い視認性と良好な粒状性を兼ね備えた自然かつ立体感のある強調画像を実現できる「ダイナミック処理」といった画像処理技術に、大変魅力を感じました。

その後、会場を移し懇親会が終始和やかな雰囲気で行われました。今回は、未入会の方の参加が無く残念でしたが、実りある交歓会になったのではないのでしょうか。



(板橋)

「会津若松市健康まつり」開催

平成30年9月30日(日)に、会津若松市文化センターにおいて、第34回会津若松市健康まつりが開催されました。会津地区協議会ブースでは、放射線に関するパネル展示を実施し、スタンプラリーへの参加も行いました。台風接近直前の不安定な天候下での開催となりましたが、例

年の約2倍となる448名の方が会津地区協議会ブースに来場され、健康・放射線への関心の高さが伺い知れる催事となりました。



(健康まつりの様子)

(山下)

があるということで、参加された皆様におかれましては自施設のプロトコルを見返す良い機会になったのではないのでしょうか。



(研究会の様子)

(佐藤)

「第97回会津画像研究会・第40回会津MRI研究会合同」開催

平成30年11月7日(水)会津中央病院にて開催されました。

はじめに「線量管理システムRadimetricsの紹介」と題してバイエル薬品株式会社の安達 恭幸様に講演頂きました。

診療報酬改定で画像診断管理加算3が追加されたことや頭部MRI撮影加算の影響もあり、日に日に被ばく線量管理の重要性が増しつつあります。日本メドラッド株式会社のRadimetricsはX線線量情報一元管理システムで、各検査での画像や線量情報をDICOMで受診し、モンテカルロシミュレーションにより推定線量を算出し、患者ごとの累積線量等を記録します。対象となるモダリティはCT、血管撮影、TV透視、一般撮影、マンモグラフィですが、古い機種の場合は接続ができない場合もあるので確認が必要との事でした。

会場から、写損したものの被ばく管理方法の質問がありましたが、それについて演者からこの場での明確な回答はありませんでした。導入施設が全国でまだ40施設ほどで東北エリアでは大学病院に入っている程度ということでしたが、2020年に施工される見通しの医療被曝の線量記録の義務化もあり、今後これらの被ばく線量管理システムの必要性が注目されます。

次に「MRIルーチン撮影の基本、何かある！追加撮影は何か必要？」と題して骨盤（婦人科疾患）領域、脊椎領域、頭頸部領域について、竹田綜合病院の鈴木 梨紗氏、会津医療センターの伊藤 光希氏、会津中央病院の小沼 慎一郎氏からそれぞれ発表がありました。

いずれの施設でも疑っている疾患や症例に合わせて医師が診断しやすい画像を提供できるように適宜撮像法を変えたりシーケンスを追加したりしていました。追加するにも、各診断に有効な撮像法を事前に知っておく必要

県南地区

「ピンクリボン in 郡山2018」開催

平成30年10月14日(日)星総合病院にて開催されました。技師会では「乳がん検診見学ツアー」として、星総合病院の機器を使って参加者に検査の内容を説明し、30名程度の参加がありました。また、東北女性診療放射線技師ワーキンググループから準備して頂いた、入浴剤と自己検診方法のリーフレットの配布を行いました。今年は、若い方の参加もあり、高濃度乳腺に対する心配から、トモシンセシスやABVS（超音波Brest volume scanner）など新しい技術に対する関心が高いようでした。



(ピンクリボン in 2018郡山の様子)

(國分)

県北地区

「県北MDCTカンファランス」開催

平成30年9月29日(土)第18回県北MDCTカンファランスが下記の内容で福島テルサで開催された。

1. 新装置・アプリケーションの紹介と使用経験、座長 枳記念病院阿部努さん①超高精細CT「Aquilion Precision」大原綜合病院村松駿さん②MARの使用経

験(1)Canon大原総合病院中條柚香さん(2)Philips公立藤田総合病院佐藤徹さん。

2. 整形領域のCT、座長浅野佳寿雄さん①整形領域で生かすMTF測定(1)基礎編「倫理から測定・解析まで」福島県立医科大学深谷岳史さん(2)応用編「撮影プロトコルと空間分解能」済生会福島総合病院星大地さん②整形領域のCT撮影法「ポジショニングから画像処理まで」福島赤十字病院羽貝寿子さん。

3. 特別講演、座長済生会福島総合病院星大地さん、講演「外傷CT診断：Focused Assessment with CT for Trauma」福島県立医科大学放射線医学講座助手 黒岩大地先生

約40名の参加があり整形領域のCTについて、直接実践につながる内容で参加された皆様熱心に聞き入っていました。



(勉強会の様子)

(阿部)

「ふくしま健康フェスタ2018」開催

平成30年10月14日(日)MAXふくしまにて健康フェスタ2018が開催され、今年も県北地区協議会として参加。

今回は親子お仕事体験のコーナーをもうけ、実際に専用のワークステーションを体験していただき、放射線技師の業務を説明しました。骨や血管像の動く3D画像に子供たちは興味津々でした、約200名の方がブースに足を運んでくださいました。



(健康フェスタの様子)

(阿部)

《お知らせ》

業務拡大に伴う統一講習会（福島県）開催 平成30年度 第2回統一講習会

日時：平成30年12月8日(土) 9日(日)

場所：福島市、大原総合病院

第40回福島県放射線治療技術研究会開催 のお知らせ

第40回福島県放射線治療技術研究会開催のお知らせ

各位
敬下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、「第40回福島県放射線治療技術研究会」を開催する運びとなりました。当会は、「福島県内の放射線治療を推進している放射線治療技師・臨床物理士を中心に結集、情報交換の場および治療法・基礎知識の習得の場を提供する」ことを趣旨とする会です。

本年の大会お忙しい中誠に恐縮ですが、貴会の多数のご参加をお待ちしております。なお、本研究会は日本放射線治療専門放射線技師認定機構の単位として認定されています。

敬具

記
日時平成30年12月8日(土) 13時より17時40分まで
会場 南東北がん電子線治療センター 2階大会議室
プログラム
・登録入場券 13:00-13:05 福島県立医科大学 加藤貴弘
・メーカー講演1 13:05-13:50
座長 太田西ノ内病院 小堀清隆一
『ADAPT180の紹介』
講師 千代田デジタル株式会社 山口 義樹 先生
・メーカー講演2 13:50-14:40
座長 福島県立医科大学 加藤貴弘
『64時の建物の野生 - 基礎事項から実際の管理 -』
講師 パリアンメディカルシステムズ 内田孝三 先生
・特別講演 14:50-16:00
座長 福島県立医科大学 加藤貴弘
『放射線治療計画の発展 - 現場で知っておきたい対応を中心に -』
講師 福井大学医学部附属病院内下崎 先生
・会費抽選発表 16:00-16:50
座長 白河厚生総合病院 鈴木 忠志
①福島県立医科大学附属病院：三瓶 博
②福島県立医科大学附属病院：佐藤 謙
③太田西ノ内病院：高田 洋
④南東北がん電子線治療センター：渡部 浩
・会費抽選発表 2 16:50-17:40
座長 福島県立医科大学 加藤貴弘
①福島県立医科大学附属病院：岡 義隆
②南東北がん電子線治療センター：高崎 敏夫
③福島県立医科大学附属病院：山田 健彦
④福島県立医科大学附属病院：長澤 雅介
平成30年10月30日
代表世話人 福島県立医科大学医学部附属放射線治療部 加藤 貴弘
090-6266-0831
katu.nerv@pcn@gmail.com

編集後記

だいたい寒い日が多くなってきました、今年も残りわずか、個人的にはあっという間の1年と感じております、また子供のクリスマスプレゼントに悩む時季となりました。(予算的にですが…)

皆様ご多忙の毎日、ストレスをためず、お体を大切に年末年始をお迎えください。

(安藤)

会費の納入はお済ですか？